

拝啓 親愛なる UNAFEI の皆様

こんにちは！

ペルーのリマからごあいさつ申し上げます。私は、UNAFEI の第 144 回国際高官セミナーに参加したエドゥアルド・ホセ・トリスタン・カストロです。このセミナーでは、「刑事司法手続の各段階における被害者のための適切な施策の拡充」について議論しました。

セミナーを終えてペルーに帰国後、私は、イキトス警察学校の教養部長に任命されました。イキトスは、ペルーの熱帯雨林地域にある都市です。私は、現在、警察学校の運営及び教養科目の指導などに携わっています。

第 144 回国際高官セミナーに参加した後、私は、全国の警察学校における指導カリキュラムに「犯罪被害者に対する適切な対応」という科目を加えるべきであるとの提案書を提出しました。そして、私のこの提案を上層部が採用してくれることになりました。

そこで、改めて私が正式な提案書を作成・提出したところ、これを受けて、ペルー警察内部の指示決定書に基づき、「犯罪被害者への対応」が全警察学校におけるカリキュラムに一科目として含まれることが正式に決まりました。実際に、ここ 1 年間、ペルーの全ての警察学校において、「犯罪被害者への対応」を指導科目に含めたカリキュラムが実施されました。ペルー国内には 26 の警察学校があり、未来を担う若手警察職員全員がここで研修を受けます。ですから、2010 年以降、全ての若手警察職員は、「犯罪被害者への対応」について学ぶことを義務付けられるようになったのです。

私は、現在、行政学修士の学位取得に向けて勉強しています。

私が日本で様々な知識を得ることができたのは、UNAFEI の教官方、外部講師の皆様、そして私の大切な仲間である第 144 回国際高官セミナー参加者の皆さんのおかげであり、心から感謝しています。

敬具

エドゥアルド・トリスタン・カストロ
ペルー国家警察 警視長